

第63期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



アルゼンチンの"トーレ・レブソル YPF"には、高速エレベータ16台が活躍しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
第63期第2四半期(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の
連結業績の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、最悪期は脱したものの、欧米の
景気は低調に推移しました。中国では、景気刺激策の効果に
よって内需を中心に回復しつつあり、その他のアジア地域で
も、各国の景気刺激策や中国向け輸出の増加もあり、景気
は持ち直しの兆しが見られました。また、日本経済も景気対策
やアジア向けの輸出増などにより、生産に持ち直しの動きが
見られましたが、雇用情勢の悪化や設備投資の大幅な減少
などによって厳しい状況で推移しました。

昇降機業界におきまして、中国市場では不動産開発投資の
回復により、需要は底堅く推移した一方、北米を始めとする
その他の市場では、不動産市況の悪化により、集合住宅、
商業用不動産向けともに低調に推移しました。日本市場では、
マンションや商業施設向けの需要の減少が続きました。

このような中、当社は主力商品の拡販やモダニゼーション事業
の収益拡大に努めましたが、国内および世界市場での需要
の縮小に加え、為替変動の影響などにより、当第2四半期連結
累計期間の受注高は483億26百万円(前年同期比22.5%
減)、売上高は490億68百万円(同1.2%減)となりました。

損益面では、日本での大幅な減益により、営業利益は6億34
百万円(同58.7%減)となりました。営業外収支は3億75百万
円(同1億79百万円増)の利益となり、経常利益は10億10
百万円(同41.6%減)となりました。

さらに、特別損益の純額は、たな卸資産評価損などの減少で
前年同期比6億68百万円改善する一方、税金費用および
少数株主利益が前年同期に比べ、1億98百万円、1億65
百万円それぞれ増加した結果、四半期純利益は76百万円

(同84.4%減)となりました。
当期の中間配当金につきましては、当期の業績を踏まえ、1株当たり4円とさせていただきます。



世界経済は今後、中国での景気刺激策の効果による急回復が見込まれますが、その他の地域は、各国の景気対策を下支えに緩やかな回復にとどまるものと見られます。昇降機市場において、中国では不動産開発投資の拡大を背景に、需要の回復が見込まれるものの、総じて需要は低調に推移すると見られ、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

当社では、中期経営計画“Regeneration for Quality”（品質維新）の最終年度として、全グループが一丸となって果敢な拡販活動を展開し、業績の早期回復に全力を挙げております。さらに、国内で来年春完成予定のエスカレータ拠点とフィールド拠点に加え、中国の「上海調達センター」も本格稼働するなど、更なる事業の拡充によって収益の向上を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

代表取締役社長 内山 高一

主な活動概況

日本

Japan

茨城県土浦市では、大型商業施設“イオン土浦ショッピングセンター”がオープンし、エレベータとエスカレータ計40台が活躍しているのを始め、静岡県磐田市の大型商業施設“ららぽーと磐田”ではエレベータとエスカレータ計36台が納められています。



イオン土浦ショッピングセンター

群馬県高崎市では、“国立病院機構 高崎総合医療センター”の新病棟が完成し、エレベータとエスカレータ計9台が活躍しています。

東京では、JR大崎駅西口の再開発事業に伴う高層オフィスビル向けにエレベータ10台を受注するとともに、墨田区に建設予定の「東京スカイツリー」に隣接する商業施設向けにエスカレータ15台を受注しました。



高崎総合医療センター

このほか滋賀県では、関西随一の規模を誇る大型商業施設“三井アウトレットパーク滋賀竜王”向けに、エレベータとエスカレータ計16台を受注しています。

北南米

North & South America



ネーションワイド・チルドレンズ・ホスピタル完成予想図

米国では、オハイオ州コロンバスに建設される全米屈指の医療施設“ネーションワイド・チルドレンズ・ホスピタル”向けに、エレベータ15台を受注するとともに、テキサス州アディソンに建つ最先端オフィスビル“スペクトル・

Activities

センター”向けに、エレベータ16台が納められます。

カナダでは、バンクーバーに建つ世界的ホテル“シャングリラ”と高級コンドミニアムの複合ビルが間もなく完成し、超高速機種を含むエレベータ13台が納められています。



トーレ・レブソル YPF

アルゼンチン・ブエノスアイレスでは、世界的建築家シーザー・ペリ氏設計による高級オフィスビル“トーレ・レブソル YPF”や市営地下鉄に、数多くのエレベータとエスカレータを納入しています。

東アジア

East Asia

中国・北京市では、“北京地下鉄4号線”が開業し、24駅の全駅にエスカレータ108台が活躍しています。

同じく中国では、遼寧省鞍山市で建設中の大規模住宅開発プロジェクト向けに、エレベータ248台を大量一括受注しました。

香港では、オリンピック駅に隣接する6棟の超高層住宅と商業施設“ザ・ハーミテージ”向けにエレベータとエスカレータ計41台、チュンクワンオウ駅に隣接する高層住宅と商業施設向けにエレベータとエスカレータ計53台が納められます。

台湾では、高雄市の“ワールド・ゲームズ・スタジアム”にエレベータ10台を納入したのに続き、同じく高雄市に建設される“新光三越デパート左営店”向けに、エレベータ・エスカレータ・オートウォーク(動く歩道)計59台を一括受注しました。



北京地下鉄4号線

南アジア

South Asia

シンガポールでは、マリーナ・ベイに建つ超高層 condominium “ザ・セイル”が完成し、超高速機種を含むエレベータとエスカレータ計25台が活躍しています。

同じくシンガポールでは、トア・パヨ地区に建設される5棟の高層住宅向けに、エレベータ18台を受注しました。

インドでは、世界的に著名な“フォーシーズンズ・ホテル・ムンバイ”に、豪華なエレベータ8台が設置されているほか、積極的な販売活動を展開しています。



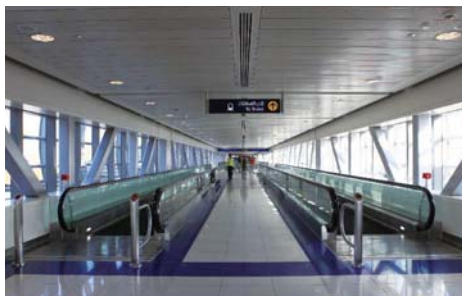
ザ・セイル

欧州・中東

Europe & Middle East

アラブ首長国連邦のドバイでは、世界最大規模の人工島「パーム・ジュメイラ」に建設されたモノレールが開業。新しい4駅の駅舎では、エレベータとエスカレータ計32台が活躍しています。

同じくドバイの都市鉄道プロジェクト“ドバイ・メトロ”が一部開業し、駅舎から幹線道路上にかかる歩道橋に、オートウォーク92台が設置されています。



ドバイ・メトロ

トピックス

“ビッグステップ”と“ビッグフィット” 待望の完成まであとわずか！

エレベータの最先端開発・生産拠点“ビッグウイング”に続き、エスカレータの開発・生産拠点“ビッグステップ”と、フィールド関連と広域災害の対策拠点“ビッグフィット”の建設工事が着々と進み、完成まであとわずかかとなっています。

“ビッグステップ”は、兵庫県豊岡市に位置し、生産体制の更なる拡充と研究開発体制の一層の強化を図るため、新たにオフィス棟と工場棟を建設するものです。このほど新オフィス棟が完成し、引き続き、既設工場の改修工事を進め、すべての工事が完成するのは来年春の予定。エスカレータの開発から生産までのスピーディーな一貫体制を構築し、更なる事業の拡大を目指します。

一方、“ビッグフィット”は、大阪府茨木市の旧本社にあり、現在活動中の「フィールド技術研究所」と「フィールド研修センター」、遠隔監視センター「セーフネットセンター」に加え、サービス・モダニゼーション部門、グローバル市場にも対応可能な部品供給基地「部品センター」を集結するものです。

フィールド技術の更なる向上により、利用者の方々の“安全・安心”を更に高める中核拠点として、来年2月に完成の予定です。



ビッグステップ



ビッグフィット(完成予想図)

新商品

標準型エスカレータ〈GS-NX〉シリーズ 安全性、省エネ、デザイン性を更に向上！

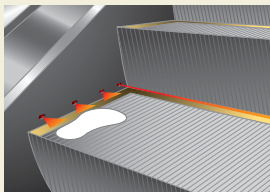
フジテックの標準型エスカレータ〈GS-NX〉シリーズにおいて、このたび安全性、省エネ、デザイン性を更に向上させる各種装置を開発しました。

エスカレータのステップとスカートガードとの隙間に靴や衣服などが挟まれるのを防止するのが「フットセーフティーセンサー」※。業界で初めて、スカートガードに設置した足位置感知センサーにより、音声と光で警報を発し、利用者に注意を促します。

また、スカートガードにLED光源※を採用したものをご用意しました。従来の蛍光灯と比べ、長寿命化、省エネを実現するばかりか、ランニングコストも大幅に削減します。

さらに、エスカレータの乗降部に反射型ビームセンサーを設置し、一定時間、利用者がいない時はエスカレータを減速させ、消費電力の少ない待機速度で走行する「省エネ運転装置」※も新たに登場。エスカレータの加速時間を十分確保することによって、スムーズに乗り込むことができるなど、安全性を一段と向上させています。

※ 有償付加仕様



フットセーフティーセンサー



反射型ビームセンサー

GS-NX

シリーズ



New Products

高さ300mまでの超高層建物に対応したエレベータ地震対策

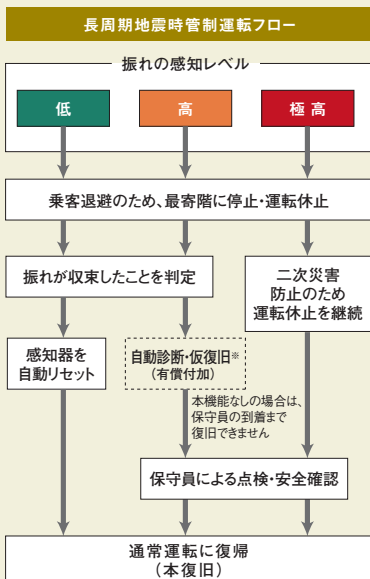
超高層ビルや超高層マンションを対象とした、エレベータの地震対策として、フジテックでは「長周期地震時管制運転」と「自動診断・仮復旧運転」を開発し、今年10月から発売しました。

長周期地震時管制運転

長周期地震動とは、数秒から十数秒の周期で建物がゆっくりと揺れる地震動のことです。

従来の地震時管制運転で設けられる地震感知器とは別に、長周期振れ感知器を設け、ロープ類の振れのレベルを推定し、それに応じて管制運転を行います。

これによって、エレベータが非常停止して閉じ込めが発生する前に最寄り階に停止し、乗客の安全を確保します。



※この機能を有効にするには、別途NEWゴールドメンテナンス契約が必要です。

自動診断・仮復旧運転

遠隔点検の技術を応用して、地震によるエレベータの損傷有無を自動的に診断し、運転に支障がない場合には自動でエレベータを仮復旧させるものです。

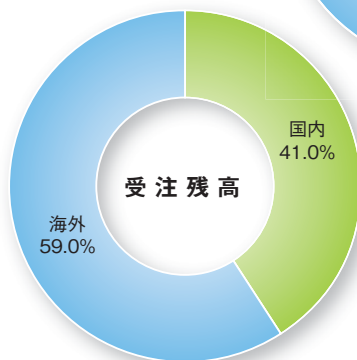
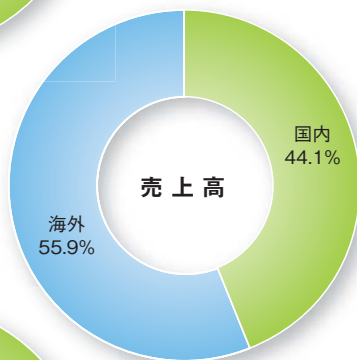
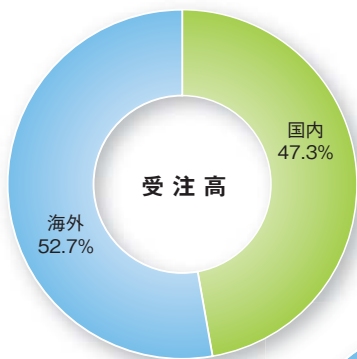
これまでは高さ120m以下の建物に設置されたエレベータを対象としてきましたが、今回、「長周期地震時管制運転」を採用することで、業界で初めて、高さ300mまでの超高層建物にも適用拡大を図りました。

連結業績の概要 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

営業の状況

			受注高	売上高	受注残高
国内	百万円		22,853	21,644	42,338
海外	百万円		25,472	27,424	60,993
合計	百万円		48,326	49,068	103,331

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



Financial Results

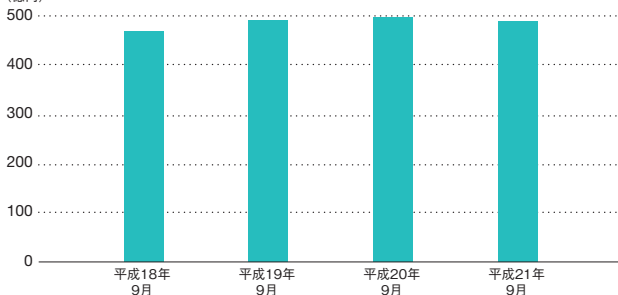
業績の推移

		当第2四半期 平成21年9月	前第2四半期 平成20年9月	前期 平成21年3月
売上高	百万円	49,068	49,659	107,609
営業利益	百万円	634	1,534	2,568
経常利益	百万円	1,010	1,730	2,544
四半期純利益 または当期純損失(△)	百万円	76	493	△ 649
1株当たり四半期純利益 または当期純損失(△)	円	0.82	5.27	△ 6.94
総資産	百万円	105,085	110,718	100,823
純資産	百万円	60,777	67,895	59,810
1株当たり純資産	円	606.00	673.10	591.87
研究開発費	百万円	835	935	2,008
設備投資	百万円	2,637	1,221	2,733

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

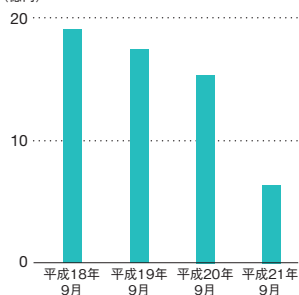
売上高

(億円)



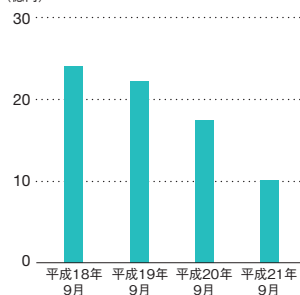
営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資産の部	金額(百万円)	負債の部	金額(百万円)
流動資産	63,430	流動負債	34,204
現金及び預金	20,760	支払手形及び買掛金	11,308
受取手形及び売掛金	27,280	短期借入金	3,971
有価証券	0	1年内返済予定の長期借入金	134
商品及び製品	2,855	未払法人税等	631
仕掛品	5,662	賞与引当金	572
原材料及び貯蔵品	5,414	工事損失引当金	3,035
その他	1,865	その他の引当金	389
貸倒引当金	△ 411	その他	14,162
固定資産	41,655	固定負債	10,103
有形固定資産	28,517	長期借入金	4,622
建物及び構築物	13,858	退職給付引当金	4,645
機械装置及び運搬具	2,499	その他	835
工具、器具及び備品	1,461	負債合計	44,308
土地	6,841		
リース資産	66	純資産の部	金額(百万円)
建設仮勘定	3,790	株主資本	72,593
無形固定資産	2,772	資本金	12,533
のれん	1,071	資本剰余金	14,565
その他	1,701	利益剰余金	45,618
投資その他の資産	10,364	自己株式	△ 124
投資有価証券	5,770	評価・換算差額等	△ 15,881
長期貸付金	1,924	その他有価証券評価差額金	659
その他	2,894	為替換算調整勘定	△ 16,541
貸倒引当金	△ 223	少数株主持分	4,066
資産合計	105,085	純資産合計	60,777
		負債・純資産合計	105,085

(注) 1.当第2四半期の連結子会社は、18社であり、持分法適用会社はありません。
2.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Financial Results

連結損益計算書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	金額(百万円)
売上高	49,068
売上原価	40,973
販売費及び一般管理費	7,460
営業利益	634
営業外収益	736
営業外費用	360
経常利益	1,010
特別利益	7
特別損失	50
税金等調整前四半期純利益	966
法人税、住民税及び事業税	488
法人税等調整額	△ 55
少数株主利益	457
四半期純利益	76

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,126
現金及び現金同等物の期首残高	9,388
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	856
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,118

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

企業データ

会社の概況

設立 昭和23年2月9日

資本金 125億3,393万円（平成21年9月30日現在）

フジテック・グループ

【日本】	本社	滋賀県彦根市 ビッグウイング	TEL(0749)30-7111
	東京本社	東京都港区三田3丁目9-6	TEL(03)4330-8200
	大阪支社	大阪市浪速区難波中2丁目10-70	TEL(06)6636-5900
【北米】	アメリカ	FUJITEC AMERICA, INC.	
	カナダ	FUJITEC CANADA, INC.	
	グアム	FUJITEC PACIFIC, INC.	
【南米】	ベネズエラ	FUJITEC VENEZUELA C.A.	
	アルゼンチン	FUJITEC ARGENTINA S.A.	
	ウルグアイ	FUJITEC URUGUAY	
【欧州】	ドイツ	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH	
	イギリス	FUJITEC UK LTD.	
【中東】	サウジアラビア	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.	
	エジプト	FUJITEC EGYPT CO., LTD.	
	アラブ首長国連邦	FUJITEC UAE	
【南アジア】	シンガポール	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.	
	フィリピン	FUJITEC, INC.	
	マレーシア	FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.	
	インドネシア	P.T. FUJITEC INDONESIA	
	インド	FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.	
	ベトナム	FUJITEC VIETNAM CO., LTD.	
【東アジア】	ホンコン	FUJITEC (HK) CO., LTD.	
	台湾	富士達股份有限公司	
	韓国	FUJITEC KOREA CO., LTD.	
【中国】	中国	華昇富士達電梯有限公司	
	中国	上海華昇富士達扶梯有限公司	
	中国	上海富士達電梯研究有限公司	
	中国	富士達電梯配件(上海)有限公司	
	中国	FUJITEC CHINA	

Corporate Data

役員

取締役

代表取締役社長	内山 高一	取締役	北川 由雄
取締役	住本 彰	取締役	重兼 壽夫
取締役	関口 岩太郎	取締役	花川 泰雄
取締役	野木 正彦	取締役	稲葉 和夫

監査役

常勤監査役	松原 敏之	監査役	佐伯 照道
監査役	中野 正信		

執行役員

執行役員社長	内山 高一*	常務執行役員	黒木 和比幸
執行役員副社長	住本 彰*	執行役員	面口 久信
執行役員副社長	関口 岩太郎*	執行役員	升本 裕紳
専務執行役員	野木 正彦*	執行役員	山城 啓二
専務執行役員	北川 由雄*	執行役員	奥田 勝次
常務執行役員	白井 孝雄	執行役員	井上 治男
常務執行役員	梶田 順司	執行役員	多川 正弘
常務執行役員	津山 圭二	執行役員	船見 実生
常務執行役員	岡田 隆夫	執行役員	原田 政佳

*は兼務しています。

株式の状況

発行済株式の総数 93,767,317株

株主数 3,672名

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1. シティグループ・グローバル・マーケッツ・インク	13,852	14.80
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	10,025	10.71
3. 富士電機ホールディングス株式会社	5,089	5.43
4. クレジット スイス チューリッヒ	4,571	4.88
5. 株式会社りそな銀行	4,203	4.49
6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,049	4.32
7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,145	3.36
8. メロン バンクトリーティー クライアーツ オムニバス	2,622	2.80
9. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,111	2.25
10. 株式会社みずほコーポレート銀行	1,989	2.12

(注)出資比率は、平成21年9月30日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己名義株式184,704株を除いた93,582,613株を基準に計算しています。

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当受領 株主確定日	毎年3月31日 なお、中間配当の株主確定日は9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。 ホームページアドレス http://www.fujitec.co.jp/koukoku/
株主名簿 管理人	東京都港区芝3丁目33-1 中央三井信託銀行株式会社
同事務 取扱場所	大阪市中央区北浜2丁目2-21 (〒541-0041) 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および 全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

株式の振替等のご案内

株券電子化時点において、お手元に自己名義の株券をお持ちの場合など、証券会社等へお届けいただけなかった株主様の権利を保全するため、当社が「特別口座」を開設しました。

「特別口座」に記載された株式については、制度上、そのままでは売買することができないことにご留意いただく必要があります。ただし、単元未満株式の買取りのご請求は可能です。

売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替える(株数等の記録を移す)手続きが必要となります。振替のお手続きには日数を要することから、あらかじめお手続きいただくことをお勧めいたします。振替のお手続き等詳細につきましては、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にご照会ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金額収書にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振替を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際、その添付資料としてご使用いただくことができます。